

平成 18 年 11 月 7 日北海道佐呂間町竜巻災害 写真報告

(財)消防科学総合センター

主任研究員 黒田洋司

研究員 小松幸夫

研究員 宇治田和

平成 18 年(2006 年)11 月 7 日(火)、午後 1 時 20 分頃から 30 分頃にかけて、開拓 100 年を迎えたばかりの北海道佐呂間町若佐(わかさ)地区を突然竜巻が襲った。気象庁によれば竜巻の強度は「藤田スケールで 2 以上」と考えられている。総務省消防庁によると 11 月 21 日 18 時現在、死者 9 名、重軽傷者 29 名、住宅の全壊 10 棟、半壊 8 棟、一部破損 19 棟、非住家被害 40 棟となっている。



当センターでは、発災翌日の 8 日(水)午後 1 時頃現地に入り、同日夜 8 時頃まで現地状況を調査した。調査時点での被害の様子および現地で活動していた諸機関の状況について確認できたものを写真で報告する。

【被害の様子】

9名が犠牲となったトンネル工事事務所付近



若佐地区(トンネル工事事務所付近以外)



【諸機関の活動の様子】

佐呂間町役場〈佐呂間地区、右下写真は若佐地区での広報担当者〉



避難所となっていた老人福祉センター(社会福祉協議会)前〈佐呂間地区〉



遺体安置所となった町民センター〈佐呂間地区〉



消防機関の活動(若佐地区)



警察の活動(若佐地区)



自衛隊の活動(若佐地区)



国土交通省の活動(若佐地区・佐呂間地区(下段 国土交通大臣視察報告))



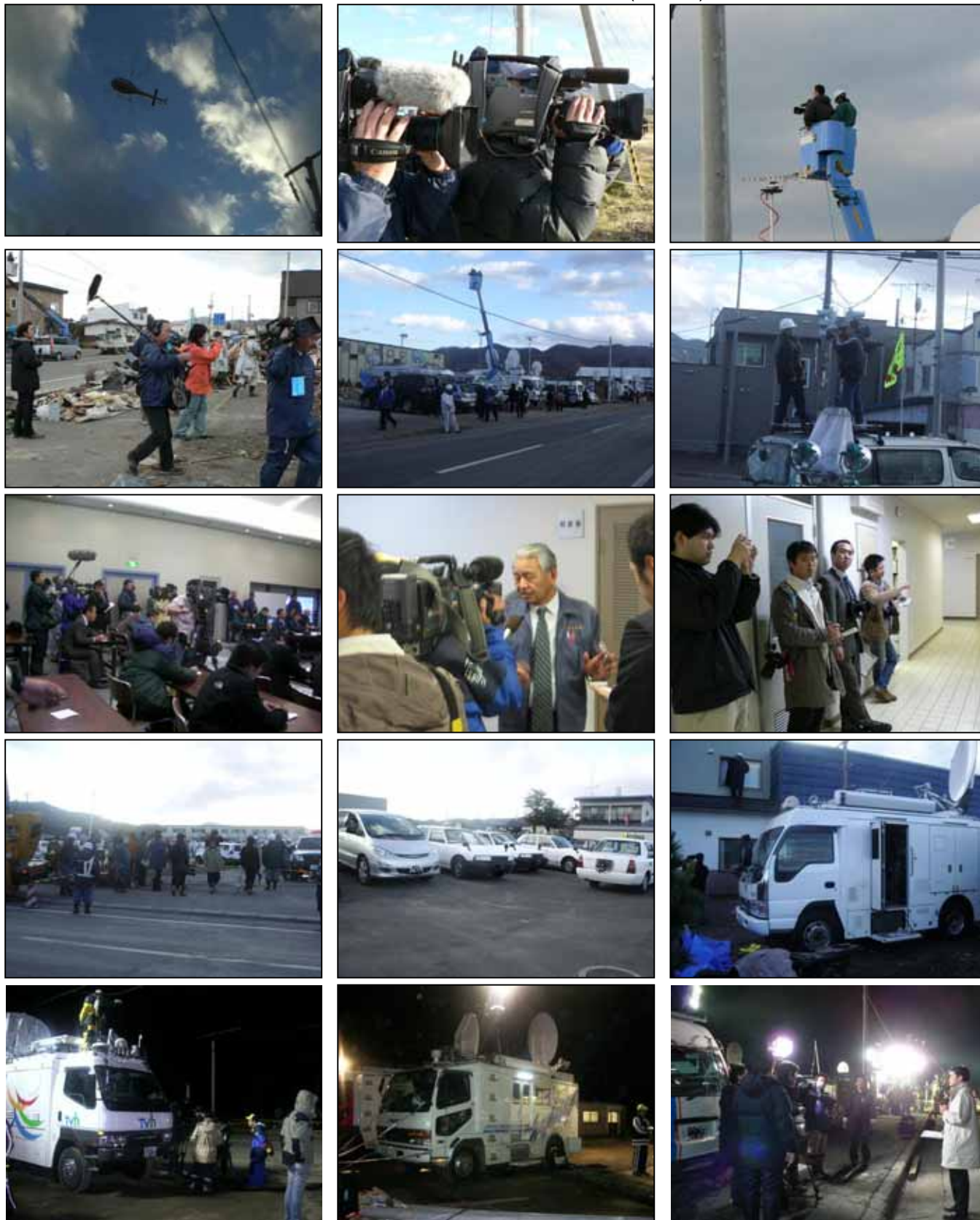
北海道電力の活動(若佐地区)



通信事業者の活動(若佐地区)



報道機関(テレビ局など)の活動(若佐地区・佐呂間地区(3 段目))



住民の復旧活動(若佐地区)



その他の様子(若佐地区)

